

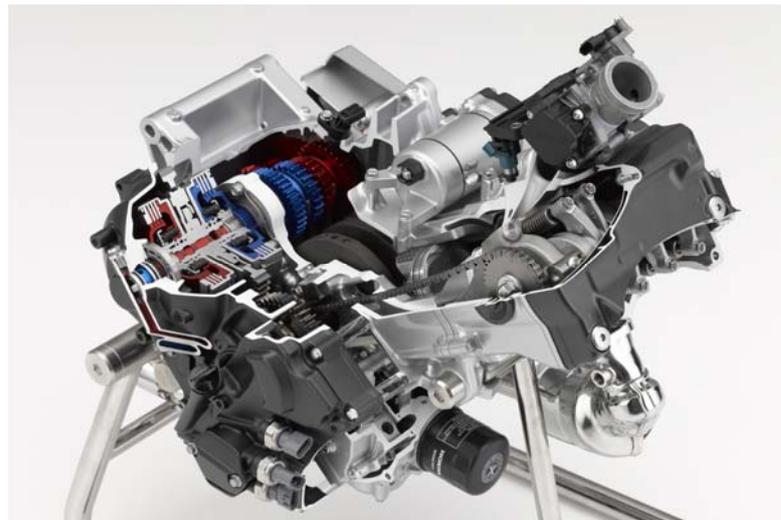
デュアル・クラッチ・トランスミッション

INTEGRA

INTEGRAのデュアル・クラッチ・トランスミッションは、Honda が二輪車用として世界で初めて開発し「VFR1200F」に搭載したものに対し、さらに軽量・コンパクト化を図った第二世代へと進化させています。油圧回路のシンプル化を図り油圧回路長を40%短縮。また、プライマリードリブンギアを2つのクラッチで挟み込むサンドイッチ構造としてメインシャフトを短縮しました。さらに、より応答性が高く、限りなくシームレスな特性を目指して、右側カバーにリニアソレノイドバルブを内蔵しています。

走行モードには、状況に応じて的確なシフトアップ/ダウンを自動的に行う「ATモード」と、シフトスイッチにより任意に変速できる「MTモード」を設定。ATモードには、一般走行に適した「Dモード」と、スポーティーな走行に適した「Sモード」があり、Dモードはライダーの操作から、市街地や峠道などさまざまな走行環境を判断し、最適な変速制御を行います。さらに、ATモード走行中にも「シフトアップ/ダウン」スイッチで変速が可能であり、走行状況に応じた最適なタイミングで「ATモード」に自動復帰する機能も設定しています。これらの先進機能の採用により、利便性が高く、かつダイレクト感のある走りを楽しむことができます。

■エンジンカットモデル



■デュアル・クラッチ・トランスミッション 断面構造図

